

□■(株)技術情報センター ————— ■□

「いいテク・ニュース」
～ Ecology & Energy-Techno News ～

□■————— 2009. 5.26 Vol.79 ■□

いつもお世話になっております。「いいテク・ニュース」第79号
をお届け致します。

さて、今月号のメルマガでは、2009年7月度開催予定セミナー
及び新規取り扱い書籍のご案内を致しております。

今回お届けする7月度開催予定セミナーでは、なかなか出口の見
えない不況の中でも注目を集めている

『植物工場の普及・コスト削減に向けた国の支援策・最新動向と
生産動向・事例にみる成功のポイント』

『藻類利用・研究の現状と今後の課題・可能性』

『スマートグリッドをめぐる最新動向とビジネスチャンス』

といった話題性十分なテーマを中心に、幅広い分野のセミナーを取
り揃えておりますので、どうぞ最後までお読み下さいませ。

□■————— ■□

i n d e x

□■————— ■□

- ◇セミナー情報[2009年7月度開催予定セミナー/19件]
- ◇おすすめセミナーPick Up
- ◇新規取り扱い書籍情報(9タイトル)
- ◆社内研修(講師派遣)のご案内
- ◇セミナー及び書籍・調査資料Webサイトアクセス数Top10
- ◇E-mail変更・不要について
- ◇あしがき

□■————— ■□

セミナー情報[2009年7月度開催予定セミナー/19件]

□■————— ■□

弊社が主催・共催するセミナーを、日付順のご案内致します。
詳細につきましては、各セミナータイトルの下にございます
URLにてご案内致しております。

■ 7日(火)-----

“海水淡水化技術”最前線

<http://www.tic-co.com/seminar/20090707.htm>

差圧・圧力伝送器の選び方・使い方とトラブル対策

<http://www.tic-co.com/seminar/20090722.htm>

■ 8日(水)-----

植物工場の普及・コスト削減に向けた国の支援策・最新動向と
生産動向・事例にみる成功のポイント

<http://www.tic-co.com/seminar/20090702.htm>

水道事業の民間委託の具体的な進め方とビジネスチャンス
～PFI／PPPの最新動向と事業戦略～

<http://www.tic-co.com/seminar/20090710.htm>

■ 9日(木)-----

カーボン・オフセットの最新動向とビジネスチャンス

<http://www.tic-co.com/seminar/20090721.htm>

純水・超純水製造技術の実際

～使用される基本プロセスから、
要求水質に応じた装置設計、周辺技術まで～

<http://www.tic-co.com/seminar/20090704.htm>

■ 10日(金)-----

～プラント関連を中心とした～

エンジニアのための機械・装置工事費の見積方法

<http://www.tic-co.com/seminar/20090711.htm>

吸着技術の基礎と吸着操作・吸着分離装置の設計入門

<http://www.tic-co.com/seminar/20090712.htm>

■ 14日(火)-----

スマートグリッドをめぐる最新動向とビジネスチャンス
～市場・技術動向から、蓄電・送電・スマートメーター等
関連市場におけるビジネス展望まで～

<http://www.tic-co.com/seminar/20090717.htm>

エンジニアのための計装設計技術

<http://www.tic-co.com/seminar/20090725.htm>

■ 15日(水)-----

マイクロバブル／ナノバブル発生装置の選び方・使い方

<http://www.tic-co.com/seminar/20090709.htm>

太陽光発電導入における事業採算性評価

<http://www.tic-co.com/seminar/20090720.htm>

■ 16日(木)-----

～専門外の方のための～

振動の測定・解析入門

<http://www.tic-co.com/seminar/20090724.htm>

■ 16日(木)・17日(金)-----

藻類利用・研究の現状と今後の課題・可能性

～開発の最新動向と事業化・利用技術を探る～

<http://www.tic-co.com/seminar/20090708.htm>

■ 17日(金)-----

省エネソリューションビジネスの市場動向および具体的事業展開

<http://www.tic-co.com/seminar/20090718.htm>

—大ヒット商品の開発に携わった相良博士が語る—

食感性工学の理念とおいしさの創生によるヒット商品の開発事例

<http://www.tic-co.com/seminar/20090771.htm>

■ 28日(火)-----

～加工食品設計の安心・安全の確保ための！！～

現場で使う予測微生物学：微生物増殖・殺菌効果予測の実際

<http://www.tic-co.com/seminar/20090772.htm>

■ 30日(木)-----

～環境問題に関わる実務者に必須の～

基礎から学ぶ環境統計学

<http://www.tic-co.com/seminar/20090773.htm>

—新たな危機が迫る！！御社の危機管理は大丈夫か—

新型インフルエンザA (H1N1) パンデミック対策の

実際と鳥インフルエンザA (H5N1) 対策

<http://www.tic-co.com/seminar/20090774.htm>

□ ■-----■ □

おすすめセミナーPick Up

□ ■-----■ □

今回のPick Upは

『 藻類利用・研究の現状と今後の課題・可能性
～開発の最新動向と事業化・利用技術を探る～ 』

セミナーです

バイオマス資源の活用が世界的に求められている中、食料との競合を避けられ、大量のCO₂を吸収し、炭化水素の生産、狭い面積での大量培養も可能等、優れた特性を有した藻類が様々な用途に利用できる次世代バイオマスとして注目されている！！

本セミナーでは、藻類研究・利用を巡る国内外の最新動向、今後の可能性について、斯界の第一線でご活躍中の講師陣に詳しく解説頂きます。

●講 師 早稲田大学 理工学術院
先進理工学部 生命医科学科 教授
博士(工学) 竹山春子 氏

●講 師 ヤマハ発動機(株) 事業推進統括部 新規事業推進部
ライフサイエンス部 研究開発グループ 主務
博士(理学) 佐藤 朗 氏

●講 師 (株)シーアグ I N C 日本代表
(元)三菱重工業(株) 機械事業本部
エンジニアリングセンター 担当部長 生田義明 氏

●講 師 東京大学 大学院 農学生命科学研究科
水圏生物科学専攻 准教授
博士(農学) 岡田 茂 氏

●講 師 (株)ネオ・モルガン研究所
代表取締役社長 藤田朋宏 氏

●講 師 独立行政法人 産業技術総合研究所
バイオマス研究センター
バイオマスシステム技術チーム 主任研究員
広島大学 大学院 生物圏科学研究科 客員教授
農学博士 三島康史 氏

●講 師 四国大学 短期大学部 生活科学科 教授
農学博士
徳島藻油研究会 会長 西尾幸郎 氏

●日 時 2009年7月16日(木) 12:30~16:50
2009年7月17日(金) 9:30~16:30

●会場 東京・新お茶の水・総評会館 4F・401室

●受講料 63,000円(1名につき)
(同時複数人数お申込みの場合1名につき55,650円)
※テキスト代、17日の昼食代、16日・17日のお茶代、
消費税を含む

●プログラム概要

7月16日(木)

- I. 微細藻類の工学的応用と海洋微細藻類の可能性 (竹山 氏)
- II. 微細藻類の高効率屋内大量培養技術の開発とビジネスへの応用 (佐藤 氏)
- III. 海外における微細藻利用の動向と事業化及び今後の展望 (生田 氏)

7月17日(金)

- IV. 微細藻類Botryococcusの炭化水素生産に関する研究の現状と展望 (岡田 氏)
- V. 藻類の改良による重油大量生産に向けた取り組み (藤田 氏)
- VI. 海藻類のバイオ燃料化と利用技術 (三島 氏)
- VII. 緑藻の大量栽培によるCO₂吸収とバイオ燃料等の生産 (西尾 氏)

詳しい講義内容・お申し込み・お問い合わせ等は下記URLにて
ご覧下さい。

<http://www.tic-co.com/seminar/20090708.htm>

□ ■ ————— ■ □

新規取り扱い書籍情報(9タイトル)

□ ■ ————— ■ □

新たにお取り扱い致します書籍を、分野別にご案内致します。
詳細につきましては、各書籍タイトルの下にございますURLにて
ご案内致しております。

----- 《 エレクトロニクス材料 》 -----

環境調和型エレクトロニクスの信頼性向上技術
<http://www.tic-co.com/books/2009t675.htm>

高度マンマシンインターフェイスと情報技術の応用展開

ーけいはんな知的クラスターにおけるネオカデンプロジェクトー
<http://www.tic-co.com/books/2009t613.htm>

----- 《 新材料・新素材 》 -----

金属ナノ・マイクロ粒子の形状・構造制御技術
<http://www.tic-co.com/books/2009t682.htm>

MEMS デバイス総論
<http://www.tic-co.com/books/09sta038.htm>

----- 《 オプトエレクトロニクス 》 -----

光学材料の屈折率制御技術の最前線
<http://www.tic-co.com/books/2009t668.htm>

----- 《 エネルギー 》 -----

第二世代バイオ燃料の開発と応用展開
<http://www.tic-co.com/books/2009t681.htm>

----- 《 ニューバイオテクノロジー 》 -----

酵素応用の技術と市場2009
<http://www.tic-co.com/books/2009s762.htm>

----- 《 医薬品・先端医療技術 》 -----

新薬上市におけるマーケティング手法
～新薬を開発すると決定した段階から
成功のためのマーケティングは始まっている！～
<http://www.tic-co.com/books/09stp033.htm>

幹細胞の分化誘導と応用
～ES細胞・iPS細胞・体性幹細胞研究最前線～
<http://www.tic-co.com/books/09nts220.htm>

□ ■ ----- ■ □

社内研修(講師派遣)のご案内

□ ■ ----- ■ □

弊社では、25年以上にわたる延べ5,000テーマ以上のセミナー開催実績をベースに、貴社のご要望に沿った社内研修(講師派遣)をご提供させていただきます。社内研修や新入社員研修をお考えの研修担当者様や、管理職の方々のご要望にお応えする数々の研修テーマを取り揃えておりますので、どうぞお気軽にご相談下さいませ。

詳しい内容は、下記リンクにてご覧下さいませ。

<http://www.tic-co.com/seminar/shanaikenshu.htm>

□■—————■□
セミナー及び書籍・調査資料Webサイトアクセス数Top10
□■—————■□

4月21日から5月20日までの約1ヶ月間のセミナー及び書籍のWebページアクセス数Top10を挙げてみました。

…………… ★ セミナー Top10 ★ ……………

第1位 『蒸気の有効利用技術』 (6月19日(金)開催) 239 counts
<http://www.tic-co.com/seminar/20090618.htm>

第2位 『悪臭除去・脱臭装置の設計法』
(6月26日(金)開催) 212 counts
<http://www.tic-co.com/seminar/20090621.htm>

第3位 『電気二重層キャパシタ(EDLC, P-EDLC)事業の最新動向とビジネスチャンス』
(6月25日(木)開催) 204 counts
<http://www.tic-co.com/seminar/20090604.htm>

第4位 『“省エネ効果・コスト削減の見える化”手法』
(6月18日(木)開催) 195 counts
<http://www.tic-co.com/seminar/20090614.htm>

第5位 『排水処理装置の設計法』 (6月18日(木)開催) 176 counts
<http://www.tic-co.com/seminar/20090609.htm>

第6位 『“地熱発電・地(中)熱利用技術”最前線』
(6月26日(金)開催) 172 counts
<http://www.tic-co.com/seminar/20090620.htm>

第7位 『ノイズ対策の基礎と実践』
(6月24日(水)開催) 160 counts
<http://www.tic-co.com/seminar/20090612.htm>

第8位 『グリーン電力証書認定・認証のポイントとシステムを活用したビジネスチャンス』
(6月16日(火)開催) 149 counts
<http://www.tic-co.com/seminar/20090617.htm>

第9位 『環境関連法規の徹底理解と実務』
(6月17日(水)開催) 147 counts
<http://www.tic-co.com/seminar/20090607.htm>

第10位 『部・課長・リーダーのための開発マネジメントと

計画の見える化による知力生産性向上策』

(6月17日(水)開催) 143 counts

<http://www.tic-co.com/seminar/20090608.htm>

今回の集計では『蒸気の有効利用技術』が第1位にランクイン。
本セミナーは、蒸気の特性・省エネのポイントやスチームトラップ、配管選定・施工における留意点、有効利用の事例、又、様々な蒸気を電気エネルギーに転換できる(少量・低圧でも可能)小型蒸気発電機による有効利用技術について、斯界の第一線でご活躍されている講師により詳説される講義として注目を集めているようです。

..... ☆ 書籍及び調査資料 Top10 ☆

- 第1位 『熱伝導率・熱拡散率の制御と測定評価方法』 479 counts
<http://www.tic-co.com/books/09sta035.htm>
- 第2位 『樹脂の硬化度・硬化挙動の測定と評価方法』 477 counts
<http://www.tic-co.com/books/07sta015.htm>
- 第3位 『自動車用センサの最新動向』 447 counts
<http://www.tic-co.com/books/2009t671.htm>
- 第4位 『界面活性剤の選択方法と利用技術』 443 counts
<http://www.tic-co.com/books/07sta019.htm>
- 第5位 『<<2006年版>>マイクロ・ナノバブル調査総覧』 442 counts
<http://www.tic-co.com/books/2006tv05.htm>
- 第6位 『マイクロ・ナノバブル応用商品実用化動向
/用途別潜在ニーズ/研究開発動向実態調査』 262 counts
<http://www.tic-co.com/books/2004tv03.htm>
- 第7位 『シランカップリング剤の効果と使用法』 206 counts
<http://www.tic-co.com/books/06sta003.htm>
- 第8位 『UV硬化プロセスの最適化』 203 counts
<http://www.tic-co.com/books/08sta023.htm>
- 第9位 『レアメタルリサイクル市場の現状と今後の方向性』 202 counts
<http://www.tic-co.com/books/2006tv04.htm>
- 第10位 『リチウムイオン電池 この15年と未来技術』 196 counts
<http://www.tic-co.com/books/2009t650.htm>

今回の集計では、『自動車用センサの最新動向』が初登場第3位にランクイン。

これからの自動車のキーワードである「安全・安心」、「快適」、「環境・エネルギー」を実現するために、センサは欠かせないものとなっています。

本書籍は、自動車用センサに求められる高信頼性・小型軽量化・低コスト化などについて、基礎から応用までを幅広く解説された書籍として注目を集めているようです。

この集計データが、皆様の業務に少しでもお役に立てば幸いです。

□ ■ ————— ■ □

E-mail変更・不要について

□ ■ ————— ■ □

E-mailアドレスが変更になった場合は、件名に『アドレス変更』
とご記入頂き、本文には、

★ 旧E-mailアドレス

★ 新E-mailアドレス

をお書き添え頂きました上、このメールにご返信下さいますようお願い申し上げます。

今後このご案内メールが不要でございましたら、件名に『不要』
とご記入頂き、本文には、

★ E-mailアドレス

をお書き添え頂きました上、このメールにご返信下さいますようお願い申し上げます。

※下記URLでも承っております。

<http://www.tic-co.com/melmaga/>

※このメールの返信にてお問い合わせをされますと、処理の都合上、ご回答までに一週間以上頂く場合がございます。

お問い合わせは info@tic-co.com までお願い致します。

□ ■ ————— ■ □

あとがき

□ ■ ————— ■ □

2009年4月の乗用車車名別販売台数において、ホンダ『インサイト』がハイブリッド車として初の1位となりました。また、先日発売されたトヨタ新型『プリウス』もかなり売れ行きが好調なようで、ハイブリッド車もかなり一般的なものとなってきました。

「環境性能に優れた自動車に対する自動車重量税・自動車取得税の特例措置」（いわゆる「エコカー減税」）もあり、今後更にエコカー普及に拍車がかかりそうです。また、これを機に低炭素社会の実現に向けて弾みがつくことを願うばかりです。

本メールマガジンのご感想や本メールマガジンへのご意見・ご要望等 melmaga@tic-co.com まで、どしどしお寄せ下さいませ。



『 -その先の、深い情報へ- 』

(株)技術情報センター

[URL] <http://www.tic-co.com/>

[E-mail] info@tic-co.com

[TEL] 0120-06-0140

[FAX] 06-6358-0134